

記者発表資料

大阪経済記者クラブ会員各位

大阪商工会議所の新ビジョンについて 「千客万来都市OSAKAプラン～全員参加で『大大阪』『大関西』をつくろう」

【お問合せ先】大阪商工会議所 総務広報部（湯谷・玉川）
TEL：06-6944-6324

<新ビジョンの概要>

- 大阪商工会議所は、今後の事業運営の基本となる新しいビジョン「千客万来都市OSAKAプラン～全員参加で『大大阪』『大関西』をつくろう」を取りまとめた。現在、展開中の「大阪賑わい創出プラン」の後継ビジョンとして、2011年度から3年間かけて取り組む。
- 大正後期から昭和初期にかけて、近代都市として急成長し、「大大阪」と呼ばれた当時の企業家や市民の気概に倣い、大阪のポテンシャルを活用してアジアをはじめとする新興国から大阪・関西への集客と投資導入を図る。同時に、大阪・関西で新たなビジネスを創出して、海外へ発信し、大阪・関西への集客と投資導入につなげるといったインバウンドとアウトバウンドの好循環を、企業、市民、行政、経済団体等の全員参加で実現する。
- その実現に向けた先導的、先進的な官民での取り組みとして、5つの戦略プロジェクト「旅游（りょゆう）都市化推進」「メディカル・ポリス形成」「水・インフラ輸出拠点化」「環境・新エネルギー産業の研究開発拠点化」「新興国市場開拓」を掲げた。
- これら戦略プロジェクトの推進にあたって、大阪商工会議所自らは、中小企業の成長分野への参入支援に力点を置く24のアクションプログラムに取り組む。
- 一方、中小企業が活力を発揮する環境を整えるため、ビジネス拡大、人材確保・育成、創業・経営支援、インフラ整備などの事業は基盤強化と位置付け、きめ細かな事業を展開する。

<新ビジョンのポイント>

1. 新ビジョンが目指す都市像、プロジェクトで実現したい大阪の姿

- ①環境・新エネルギー、水・インフラ、ライフサイエンス、ツーリズム等の産業振興
- ②魅力的なまちづくり
- ③①や②の取り組みによる大阪ブランド・関西ブランドの構築
- ④①～③の取り組みの成果として、大阪・関西への人や企業のインバウンドとアウトバウンドを増大させ、アジアを中心とした新興国の成長を取り込み、「千客万来都市OSAKA」を実現

2. ビジョン実現のための戦略プロジェクト、基盤強化

(1) 戦略プロジェクト

①旅游（りょゆう）都市化推進プロジェクト【19～22、35～37 ページ】

大阪商工会議所と行政、企業が協力して主として中国を中心としたアジアからのインバウンド（観光客、ビジネス旅客）を促進し、その経済効果を大阪全体へ波及させる。

（旅游＝中国語で「観光」の意味。水都大阪での観光振興に相応しいことからプロジェクト名とした）

②メディカル・ポリス形成プロジェクト【23～25、38 ページ】

産学官オール関西の連携により、創薬、医療機器から派生する幅広い産業の集積を高め、国際的な複合医療産業拠点（メディカル・ポリス）を大阪府下に形成する。

③水・インフラ輸出拠点化プロジェクト【26～27、39 ページ】

優れた個別要素技術を持つ大阪・関西の企業と行政との連携を強化し、官民連携で水・インフラビジネスの輸出を推進する。

④環境・新エネルギー産業の研究開発拠点化プロジェクト【28～31、40 ページ】

国際戦略総合特区制度の活用等により、環境・新エネルギー分野の大企業、中小企業、研究機関による実証実験を含むオープンイノベーションを促進する。

⑤新興国市場開拓プロジェクト【32～33、41 ページ】

アジアを中心とした新興国の中間層（ボリュームゾーン）での販路拡大に向けた情報提供や海外進出支援を行うとともに、海外市場に大阪・関西の企業をPRする。

(2) 基盤強化 【42～46 ページ】

- ①ビジネス拡大（ビジネスマッチング、ビジネス交流・異業種交流、商店街活性化等）
- ②人材確保・育成（留学生を含む人材確保支援、企業人材の育成に資する講座・講習会等）
- ③創業・経営支援（経営相談の実施、ベンチャーの起業・成長支援等）
- ④インフラ整備（道路・港湾・鉄道等の都市インフラ整備の促進等）

3. 成果の検証指標

(1) ビジョン全体 【17 ページ】

- ①大阪の府内総生産 → 実質成長率年平均2%以上（大阪府・大阪市の成長戦略に準拠した数値目標）
- ②都市ランキング → 2010年時点よりも上位
 - ・世界の都市総合力ランキング（森記念財団都市戦略研究所） 2010年：大阪は19位
 - ・世界の都市競争力レポート（中国社会科学院） 2010年：大阪は24位
 - ・Global Financial Centres Index（ロンドン市） 2010年：大阪は30位

(2) 戦略プロジェクト 【22、25、27、30、33 ページ】

セミマクロ指標、アクション指標をそれぞれ設定した。

4. 「大阪賑わい創出プラン」との比較

※「大阪賑わい創出プラン」は2005年度から6年間実施

(1) 新たな視点 ～官民での取り組み「戦略プロジェクト」を設定

大阪商工会議所を主体とした取り組みに加えて、大阪府・大阪市、近畿経済産業局、京都・神戸の商工会議所等、地域全体で先導的、先進的に取り組む「戦略プロジェクト」を設定。

(2) 新たな産業分野 ～3つのエンジン産業から5つの戦略プロジェクトへ

地域経済を牽引するエンジン産業と位置づけて推進してきた「ツーリズム」「ライフサイエンス」「新しいモノづくり」の3分野での実績を生かしつつ、「旅游都市化推進」「メディカル・ポリス形成」「環境・新エネルギー産業の研究開発拠点化」に取り組む。また、新たなビジネス課題への対応として「水・インフラ輸出」「新興国市場の開拓」に取り組む。

(3) 新たなアクションプラン ～総合特区制度や経済圏の広域化等、新たなビジネスチャンスに対応

総合特区制度創設や経済圏の広域化等をビジネスチャンスと捉え、新たなアクションプランに取り組む。

（新たなアクションプラン（主なもの））

- ・総合特区申請（大阪城、メディカル・ポリス、環境・新エネルギー）【20、24、29 ページ】
- ・インバウンドによる買い物消費拡大【21 ページ】
- ・都心再生の支援【21 ページ】
- ・「関西・アジア 環境・省エネビジネス交流推進フォーラム水分科会」の運営【26 ページ】

以上

「千客万来都市OSAKAプラン

～全員参加で『大大阪』『大関西』をつくろう』は[こちら](#)からご覧になれます。